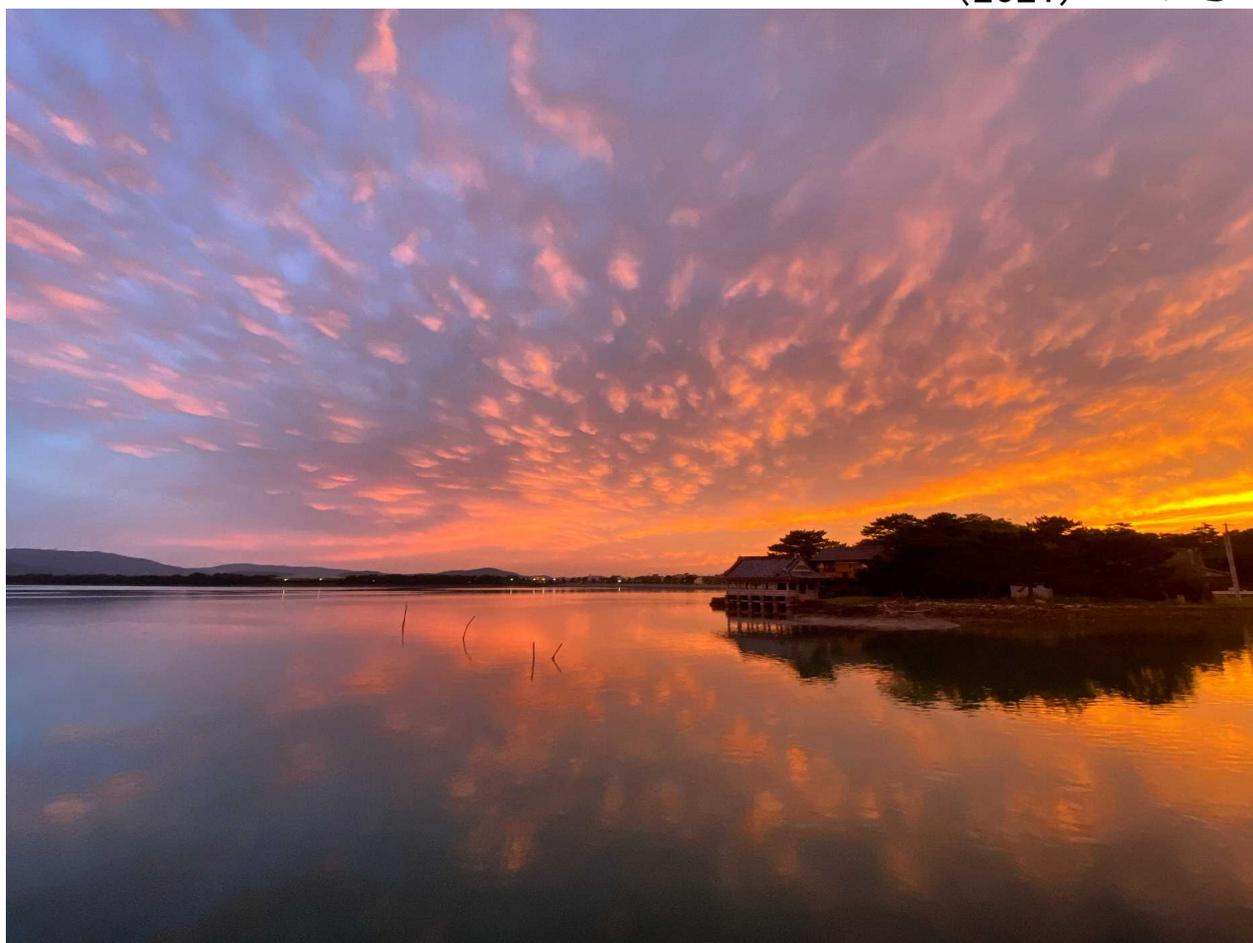


和歌山だよいい

令和3年
(2021) 6月号



和歌浦 (和歌山市)

四季折々の多彩な風景を魅せる和歌浦は、古より多くの方々を魅了してきました。その美しさは万葉歌にも詠われており、和歌山の景勝地として最も名が知られていたことから、「和歌山」の名の由来であるともいわれています。

(写真提供:和歌の浦日本遺産活用推進協議会)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2~P10
3. お知らせ…………… P11~P12
4. ふるさと歳時記…………… P13~P14



シングル・イシュー

ハイカラな言葉で申し訳ありませんが、最近ではマスコミでもよく語られる言葉で、一つの事柄に焦点を絞って、賛成、反対を問うという政治手法を指します。

少し前は郵政民営化は是か否かということで小泉元首相が大活躍をしました。その後原子力反対とか、IR 反対とか様々な案件があり、それぞれに熱心に運動をしている人がいます。最近のオリンピック反対というのもその類いだとは思います。こういうシングル・イシューは分かりやすく、是か否かと聞かれると誰でも答えられるので、マスコミなどが調査しやすく、取り上げやすいということでしょうか、よく目につきます。政治運動としても分かりやすい目標となりますので、目端の利く政治家はこれを訴えて支持を集めようとします。そして、世論調査や、住民投票をして良い結果が出たらそれが世論だとアピールしようとするわけです。

しかし、このようなシングル・イシューは多くの問題をはらみます。何か一つの事柄を成就させたり、否定したりすると必ず副作用があります。「あちら立てればこちら立たず」です。原子力反対だから止めたら電力供給は大丈夫か。オリンピック反対と言ったら、それに人生をかけてきたアスリートが可愛そうではないかという気持ちはないのか。IR 反対とすると、それに代わる成長因子を見つけられないと、地域は、ずるずると衰退していくのではないか。我々行政は常にこのような状況の中でいいところと悪いところがあるけれど、どっちが大きいとか、悪いところは除去する手立てはあるのかとか、いつも考えて右に行くか左に行くかを決めているのです。だからシングル・イシューでみんなの意見がまとまったので、世論はこうだと言って終われるわけがないのです。私のような首長だけでなく、政治家はそういう考えでいてほしいと思います。

しかし、だからといってそういうことが全部わかるまで反対、賛成という意見を言うなというのも、行政ならぬ一般の国民に求めるのは酷です。意見は言っても良い。ただ、それに答える意見の違う人の言うことも、聞く耳は持っていないといけないのではないかと私は思います。

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



5/18 記者会見にて

●統合型リゾート（IR）事業の優先権者候補を選定しました

本県では、大きな経済波及効果や雇用創出効果が見込める統合型リゾート（IR）の和歌山マリーナシティ（和歌山市）への誘致をめざして、民間事業者の公募・選定の手続きを進めてきました。

この度、クレアベストニームベンチャーズ株式会社と Clairvest Group Inc. からなるコンソーシアム（共同事業体）を優先権者候補として選定いたしました。現在、和歌山市及び県公安委員会に対し、IR 整備法に基づく協議を行っており、終了後に優先権者として正式に決定する予定です。

今後は、決定した優先権者に対して、提案内容の更なるブラッシュアップや事業実施体制の強化などを求めています。その上で、地域振興に大きく寄与するとともに国の観光立国政策にも貢献する優れた区域整備計画を作成し、国の認定申請期限である令和4年4月28日までに申請を行います。

【事業者提案の概要】 開業予定時期：令和9年秋頃

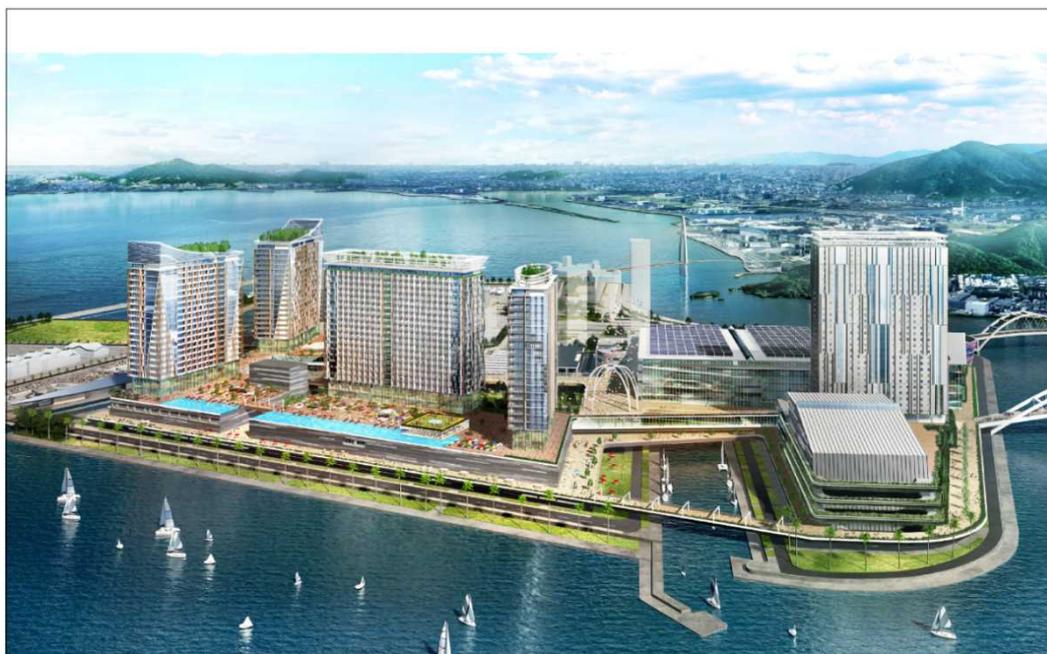
コンセプト 「木の国・水の国」自然豊かな滞在・体験型 IR

- ・日本遺産・和歌の浦に浮かぶ「浮遊都市」
- ・自然災害に強い「安全・安心な都市」
- ・長期滞在が可能な「癒しの都市」

主な経済効果 ※開業後4年目

主な施設

- | | |
|------------------|----------------------|
| ・初期投資額：約4,700億円 | ・大規模国際会議場、展示スペース |
| ・経済波及効果：約2,600億円 | ・魅力増進施設（日本遺産ミュージアム等） |
| ・雇用創出効果：約1.4万人 | ・送客施設（体験型VR施設） |
| ・目標来訪者数：約1,300万人 | ・約2,700室の宿泊施設 |



イメージ図

●紀の国わかやま総文 2021 がついに開催されます

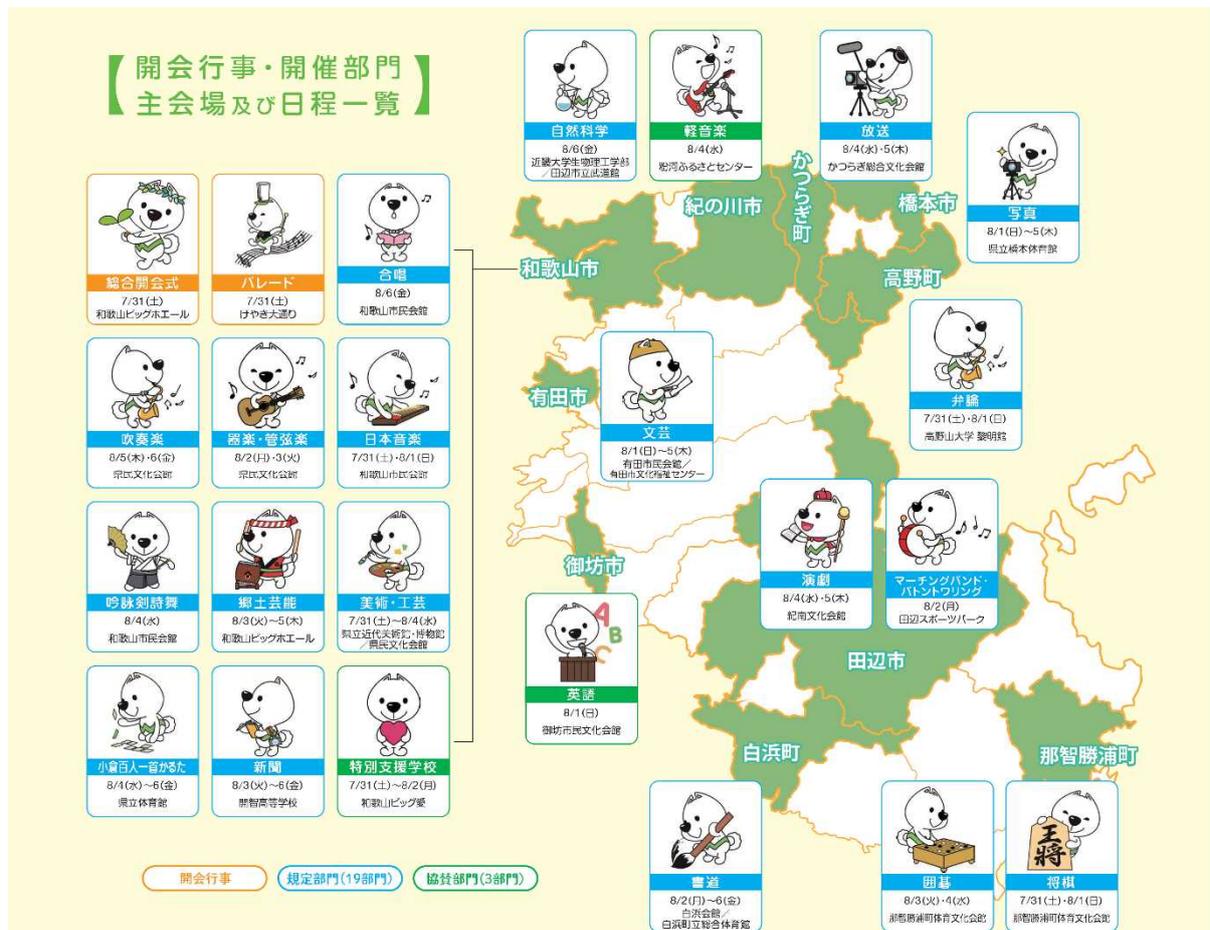
7月31日から8月6日の7日間、高校生による文化の祭典で「文化部のインターハイ」とも称される「全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021)」が本県で初めて開催されます。

総合開会式とパレードを幕開けに、県内の10市町の会場で、「特別支援学校」、「英語」、「軽音楽」といった本県独自の協賛部門を加えた22の部門大会が開催されます。

7月31日に行われる総合開会式では、「開催地発表」が予定されており、「届けよう和の心 若葉が奏でるハーモニー」をテーマに、和歌山で生まれた生命が、たくましく成長し、多くの仲間とともに未来へと羽ばたくストーリーを高校生たちがダイナミックに表現します。

また、「紀の国わかやま総文2021」の企画・運営は、和歌山県の高校生の皆さんが自ら行っており、総合開会式やパレードの準備、県外からの参加者をおもてなしするための接遇研修等に取り組んでいます。

芸術文化活動に取り組む高校生たちが日頃の成果を披露し、また生徒実行委員会としても、大会を盛り上げ、和歌山県の良さが伝わる大会づくりに全力で取り組みます。皆さんの温かい応援をよろしくお願いします。



県内10市町で熱戦が繰り広げられます。

● 高校生の就職活動について、複数応募を可能にします

本県では、高校生の就職活動について、今秋から、長年慣例となっていた選考開始日から一定期間は、1人1社しか応募できないルールを改め、就職試験の解禁日から複数社への応募ができるようになりました。

他の都道府県でも長年、「1人1社制」が続いており、「複数応募制」を採用するのは、全国で3県目となります。

この度の見直しにより、生徒が主体的に企業研究を行い、納得して就職先を決めることで、就職先で頑張ることができ、結果として高卒者の離職率の低下が期待できます。

県では、Webガイダンスや「高校生のためのわかやま就職ガイド」により、就職を目指す高校生の皆さんに、本県には魅力的な企業がたくさんあることを知ってもらい、多くの方に和歌山県の企業で活躍してもらえるよう取組を進めていきます。



和歌山で働く先輩へのインタビュー
など役立つ情報が掲載されています。

● アフターコロナ時代を見据えた企業誘致～「New Work×Life Style」の提案～

新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の働き方は大きく変化し、またテレワークを可能にするコミュニケーションツールの普及により、企業・個人の地方分散の動きが進んできています。

このような状況の中、県では、ビジネス環境の良さと安全で快適な生活環境といった強みを活かした「New Work×Life Style」を提案し、IT企業やオフィスの企業誘致を行っています。

和歌山県は、首都圏や京阪神からのアクセスが良く、また県内全域で光ファイバーによる高速通信が可能で、かつ、人口あたりのWi-Fi整備数が全国2位であるなどテレワークで必須ともいえる高速かつ安定した通信環境が整備されており、非常に働きやすい場所です。

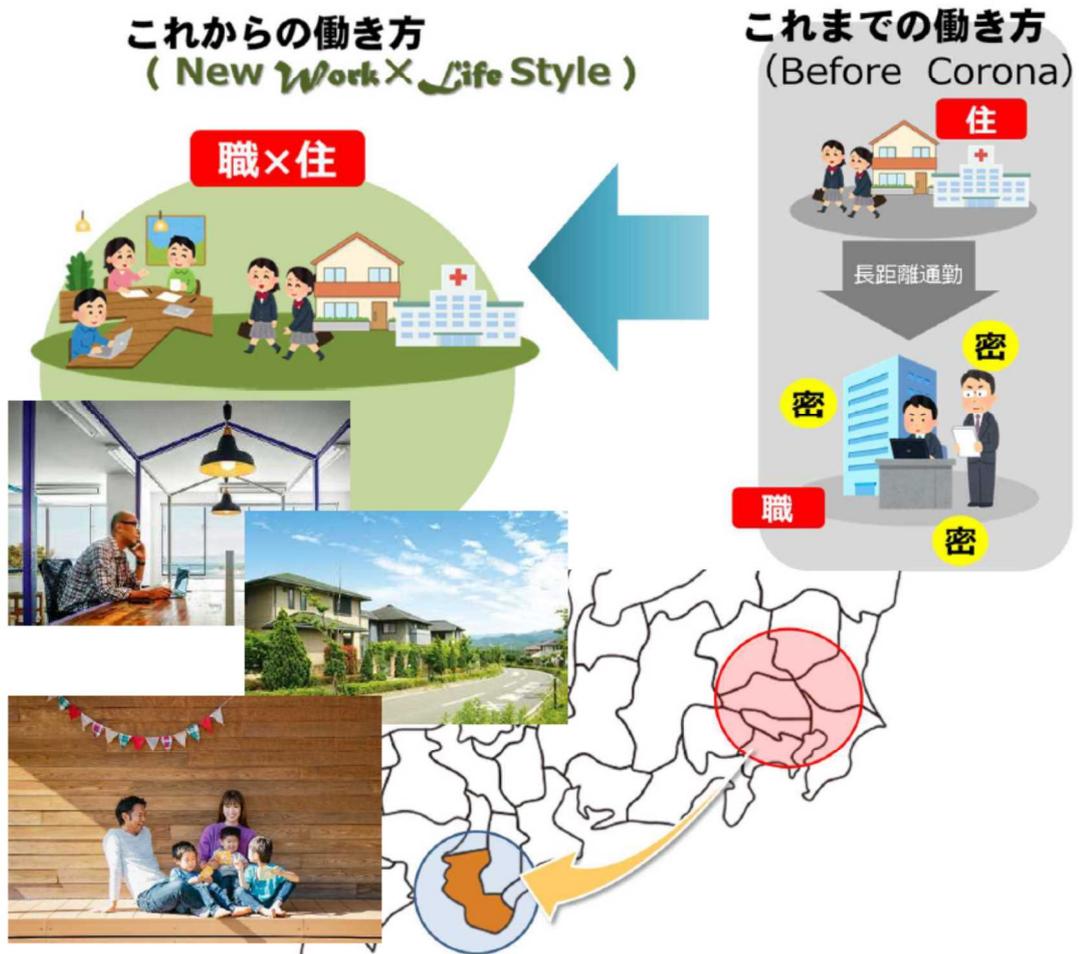
また、県内の各地域に中核となる病院があり、人口あたりの一般診療所数が全国1位でもある万全な医療体制、理工系の大学・和歌山工業高等専門学校をはじめとした充実した教育が受けられる教育機関があり、生活しやすい場所であるともいえます。

実際に、平成27年度に東京から和歌山に進出した企業においては、通勤時間の短縮等により月間64時間の自由時間を生み出すことができ、社員の方々がその自由時間で地域交流や社会貢献に取り組んだ結果、仕事へのモチベーションが向上し、生産性が20%向上しました。

今後も、和歌山県のビジネス環境と生活環境の良さを多くの企業にPRし、和歌山県への企業誘致を進めてまいります。

和歌山県が提唱する アフターコロナ時代の New Work×Life Style

時代は都市型から地方型へ。和歌山県ではこれからの職と住の在り方として『New Work×Life Style』を提唱します。



- 郊外からの長距離通勤が不要
- 広いオフィス、広い持ち家で快適生活
- 休日は、自然を活かしたレジャーを満喫

これからも和歌山県の「New Work×Life Style」の魅力を多くの企業にPRしていきます。

● 移住希望者を対象にしたオンラインセミナーを開催しました

県では、コロナ禍で現地を訪問することができない全国の移住希望者を対象に、オンラインセミナーを開催しています。

今年度の第1弾は、先輩移住者のお二人をゲストスピーカーに迎え、串本



オンラインセミナーで和歌山の魅力を語る青木さん（中央）と山本さん（左）と山本拓自（やまもと たくじ）さんに移住したきっかけや和歌山県で暮らす魅力などを現地（串本町）から紹介していただきました。

新型コロナウイルスの影響もあり、地方移住を考えている都市圏在住者から和歌山に注目が集まっています。昨年度実施したオンラインセミナーには、多くの方に参加していただき、ふるさと回帰支援センターがまとめた2020年の都道府県別移住希望地ランキングでは、セミナー部門において和歌山県が移住希望地の第1位となりました。

県では、今後もオンラインツールを有効に活用し、和歌山に移住を希望する皆さんに和歌山で暮らす魅力を発信するとともに、先輩移住者や地域の方々の協力を得ながら、より多くの方に和歌山に移住していただけるよう取組を進めてまいります。

● 「わかやまの美しい棚田・段々畑」に2地域を認定しました

県では、地域で自主的な保全活動を行い、美しい景観が保全されている棚田・段々畑を「わかやまの美しい棚田・段々畑」に認定し、棚田・段々畑と地域での保全活動をPRすることにより、中山間地域の活性化を推進しています。

この度、有田川町の旧清水町地域にある「久野原の棚田」と「杉野原の棚田」の2地域を新たに認定しました。本認定制度は平成26年度から行っており、今回で計13地域の認定となります。

今回認定した両棚田地域では、棚田地域振興法に基づき、農家の方をはじめとする様々な分野のメンバーが集まって、歴史・文化、景観など様々な視点から棚田を核とした地域振興の取組を行っており、より多くの方に当該地域を訪

れて頂くことを目指しています（具体的な取組は、以下のとおりです。）。

県では、今後も「わかやまの美しい棚田・段々畑」を認定することで、その魅力を多くの方に知っていただくとともに、棚田・段々畑を核とした地域活性化に向けた活動につなげてまいります。



久野原の棚田



杉野原の棚田

<取組内容>

棚田米やぶどう山椒といった高収益農業の実践、草刈りなど地域ぐるみの活動による景観保全、農産物直売所の設置、ゲンジボタルの保護活動等に取り組みます。

<取組内容>

棚田米や少花粉スギ苗の生産といった高収益農業の実践、草刈りなど地域ぐるみの活動による景観保全、農産物直売所の活用、農泊や体験による関係人口の創出等に取り組みます。

併せて、現在、一般公開を休止している県指定無形民俗文化財「久野原の御田舞」及び国指定重要無形民俗文化財「杉野原の御田舞」の一般公開再開を目指し、人材育成に取り組みます。

●紀南地域を JR 西日本の観光特急列車「WEST EXPRESS 銀河」が運行します

7月16日から12月22日まで、京都駅と新宮駅を結ぶ「WEST EXPRESS 銀河」が紀南地域を運行します。片道10時間以上かけて運行し、観光客は、停車駅で観光案内や地元食材を使った食事の提供、特産品の販売など地元ならではのおもてなしを受けることができます。

京都発新宮着の夜行では、南紀熊野ジオパークガイドの案内で橋杭岩を鑑賞し、朝食にはかつおのたたき井など地元素材をふんだんに使った料理を味わえます。また、新宮発京都着の昼行では、周参見駅に隣接する津波避難タワーから太平洋の眺望を楽しむことができ、太地駅では鯨の竜田揚げを食べることができます。

今月の和歌山県政トピックス

6両編成で全席指定となっており、定員は通常85名ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、4割減の54名となっています。併せて、車両は抗ウイルス・抗菌加工で換気設備も備えており、感染防止対策を徹底して運行されるため、安心して旅を楽しむことができます。



新宮－京都を週2回程度往復します。

紀南地域は、自然が織りなす景観、温泉に恵まれ、数多くの優れた自然や伝統文化を体感できる地域です。是非この機会に、多くの方々に紀南地域の魅力を知っていただきたいと思えます。

予約の受付は、下記「WEST EXPRESS 銀河」特設サイトからリンクする日本旅行ホームページで受け付けています。

<https://www.jr-odekake.net/railroad/westexginga/>

● 広川町に観光・地域交流センター「いなむらの杜」がオープンしました

広川町に、観光・地域交流センター「いなむらの杜（もり）」がオープンしました。

建物は木造平屋建てで紀州材がふんだんに使用されています。交流スペースや図書コーナーがあり、地域住民の憩いの場になるとともに、地元文化ギャラリー、地域文化伝統資料コーナーといった観光客が立ち寄り、地域文化に触れることができるスペースもあります。

平成30年5月には、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化や伝統を物語る「日本遺産」に、『「百世（ひゃくせい）の安堵（あんど）」～津波と復興の



紀州材が使用された観光・地域交流センター

「いなむらの杜」

記憶が生きる広川の防災遺産～』が認定されたところですが、「いなむらの杜(もり)」は、国の史跡である広村堤防や国の重要文化財である広八幡神社など豊富な文化財群を繋ぐ中間地点に位置することから、観光客の周遊性の向上や地域住民と観光客との新たな交流の場になることが期待されます。

特に今秋には、紀の国わかやま文化祭2021が開催されることから、本施設を拠点として、濱口梧陵の逸話「稲むらの火」や津波による犠牲者の慰霊や防災意識の継承を目的として始まった伝統の祭り「津浪祭」といった広川町の防災文化をはじめ、県内外の多くの方々に、先人の方々が継承してきた本県の文化の魅力に触れていただきたいと思います。

●和歌山県オリジナルの災害対応シミュレーションゲーム「きいちゃんの災害避難ゲーム」が完成しました

県では、楽しみながら実践的に、災害対応を学べる教材として、和歌山県オリジナルのボードゲーム「きいちゃんの災害避難ゲーム」を作成しました。ゲームは「津波から逃げ切ろう！」と「みんなで協力して避難所運営しよう！」の2種類を作成しています。



前者は、小学校高学年以上の方が対象のゲーム。冬場の悪天候の早朝に南海トラフ地震が発生する想定のもと、自宅での家具の転倒や、避難路でブロック塀が道を塞いでいるなどの課題を解決しながら、避難場所まで津波に追いつかれずに無事逃げ切ることによって得られるポイントを競うゲームで、災害における事前準備の大切さを学ぶことができます。

後者は、高校生以上の方が対象のゲーム。避難所でのトイレの使用や、避難者の車をどこに駐車するかなどの課題や発生するトラブルに対応することによって得られるポイントを競うゲームで、避難所運営を疑似体験できるものとなっています。

今後、地域での訓練や学校での防災教育、県の研修でも活用していくとともに、県防災企画課のホームページにも掲載しております。県外にお住まいの方でも、防災について楽しみながら考えることができる教材となっておりますので是非ご活用ください。

< 県防災企画課ホームページ >

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/kiichangame.html>

●「わかやまブランドストーリー」にまた新たな仲間が加わりました

本県は、温暖な気候、紀伊山地を覆う豊かな森林、その森林を源流とした数々の河川、豊かな恵みを運ぶ黒潮など、素晴らしい自然環境に恵まれています。

そして、その恵まれた自然環境と生産者の皆さんの技術・熱意により、和歌山ならではの農林水産物が数多く生み出されています。

“良いものには理由がある”をモットーに、これまで『柿』、『みかん』、『南高梅』など11品目を紹介してきたPRパンフレット「わかやまブランドストーリー 育むのは人と風土」に、この度、新たに『いちじく』、『八朔』、『えんどう』、『宿根かすみそう』の4冊が加わりました。

和歌山県が自信を持ってお勧めする自然の恵みと匠の技により生み出される品々にまつわる珠玉の物語を是非御覧ください。

(下記サイトにて御覧いただけます。)



生産者の皆さんの取組などを紹介しています。是非ご覧ください

< 県農林水産総務課ホームページ >

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/syokuzai/d00203691.html>

● 亀田製菓株式会社から、和歌山県産「ぶどう山椒」を使用した『亀田の柿の種 山椒味』が、販売されました

この度、亀田製菓株式会社から、和歌山県産「ぶどう山椒」を使用した『50g 亀田の柿の種 山椒味』が、販売されました。和歌山県産ぶどう山椒の爽やかな辛みとうまみのある醤油がピーナッツとも相性ぴったりです。初夏のおつまみに是非お楽しみください。



●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」、「ふるなび」、「ANAのふるさと納税」を御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良県産品（プレミアム和歌山）を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載していますので、是非御覧ください。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。和歌山県では、「元氣な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



***** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては *****

★お問合せ・申込窓口★ 〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地 総務部総務管理局税務課 担当 有本、森本、小弓場 電話 073-441-2186(直通) FAX 073-423-1192 E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp	★お問合せ窓口★ 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 和歌山県東京事務所 担当 前 電話 03-5212-9057 FAX 03-5212-9059
---	---

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

<p>1 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。</p> 	<p>8 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援</p> <p>和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。 
<p>2 生涯スポーツ・文化の振興</p> <p>全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワールドマスターズゲームズ2021関西 国民文化祭 全国障害者芸術・文化祭 全国高等学校総合文化祭 <p>各大会等の開催をすすめます。</p> 	<p>9 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実</p> <p>和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。 
<p>3 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】</p> <p>各学校において、「学習環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。</p> <p>母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。</p> 	<p>10 わかやまの美しい海づくり</p> <p>黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白良浜海水浴場 片男波海水浴場 <p>などの砂浜の整地をすすめます。</p> 
<p>4 がん対策の充実</p> <p>和歌山はがんで亡くなられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。 若年がん患者の方に対して、生体機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。 	<p>11 わかやまの文化財の保護</p> <p>和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 湯浅の歴史的なまちなみの修理・修景を支援します。 和歌山市・木ノ本八幡神社本殿の保存修理をすすめます。 
<p>5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援</p> <p>和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの活動で約3,900匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約1,600匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。 	<p>12 大切なふるさとの森を守り育てる</p> <p>和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や濁水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。 
<p>6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用</p> <p>和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参詣道の維持管理・パトロールを行います。 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。 	<p>13 わかやまのナショナル・トラスト</p> <p>和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。 
<p>7 南紀熊野ジオパークの推進</p> <p>令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。 	<p>※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。</p>

明治4年（1871年）11月22日に和歌山・田辺・新宮と、五條県の旧高野山領の統合により、現在の和歌山県が誕生してから、今年で150年の節目の年を迎えます。それを記念し、これまでの和歌山県の歴史を振り返ります。今回は、和歌山県誕生までの歴史と日本で唯一の飛び地の村である北山村についてです。



明治22年に建設された和歌山県庁舎
現在の和歌山市西汀丁に所在していました。
（和歌山市立博物館所蔵）

○和歌山県誕生までの歴史

紀伊半島に位置する和歌山県は、大化の改新後、「紀伊国」と呼ばれていました。国内には、伊都・那賀・名草・海部・安諦（在田）・日高・牟婁の7つの郡があり、国府は今の和歌山市府中に置かれていました。

以降、室町時代までは地方豪族や武士団の盛衰が繰り返されますが、1585年の豊臣秀吉の紀州攻めによって、一応の平定をみることとなります。

関ヶ原の戦いの後、浅野幸長が若山城に入り紀伊を治めました。1619年、紀伊と南伊勢を合わせた55万5千石の紀州藩主として、徳川家康の第10子頼宣が若山城に入城し、紀州藩は徳川御三家として重きをなしていました。この際、安藤・水野両家老が田辺・新宮に支藩として配され、それぞれ田辺城（3万8千石）と新宮城（3万5千石）を治めていました。

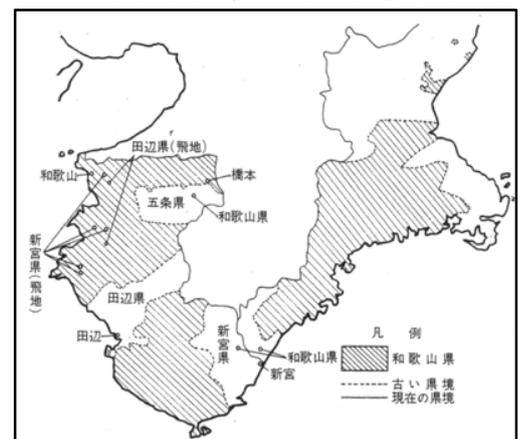
明治2年（1869年）に紀州藩は、和歌山藩・田辺藩・新宮藩の3藩に分けられますが、明治4年（1871年）に廃藩置県によりそれぞれ藩から県に変わり、同年11月22日に、3つの県と五條県の旧高野山領が統合され、今日の和歌山県が誕生しました。

○日本で唯一の飛び地の村である北山村

北山村は、村全体が和歌山県のどの市町とも接していない日本で唯一の“飛び地の村”となっています。

昔から北山村は、良質の杉に恵まれていたため、林業が栄えていました。そして、伐採された木材の輸送は、いかだによって木材集積地である新宮まで運ばれていました。そのため、当時の北山村は人口の大半をいかだ師が占め、新宮の木材業者と北山村のいかだ師は切っても切れない関係で成り立っていました。

明治4年（1871年）に廃藩置県が実施され、新宮が和歌山県に編入された際、地理的にいえば北山村は奈良県に属するところを「新宮が和歌山県に入ったのならば私たちが」との村民の意見から和歌山県に編入されました。



廃藩置県の頃の地図
（「和歌山県政史第1巻」より）

新宮の木材業者と北山村のいかだ師は切っても切れない関係で成り立っていました。

自然・風物情報(6月下旬～7月中旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
6月下旬	スモモの収穫最盛期	かつらぎ町 田辺市新庄 他	JA 紀北かわかみ 0736-42-3000 JA 紀南 0739-23-3450
7月上旬	大賀ハス開花	上富田町・田中神社 有田市・箕川	上富田町振興課 0739-47-0550 有田市産業振興課 0737-22-3624
7月上旬	ハマユウ見頃	和歌山市・番所庭園 白浜町・白良浜	番所庭園 073-444-6533 白浜町観光課 0739-43-6588
7月上旬	ハマボウ開花	御坊市・日高川河口南部 那智勝浦町・ゆかし湯	御坊市商工振興課 0738-23-5531 那智勝浦町観光企画課 0735-52-0555
7月中旬	サンゴの産卵	串本町・串本海中公園 センター 他	串本海中公園センター 0735-62-1122
7月中旬	ボウズハゼの滝登り	古座川町・滝ノ拝	古座川町地域振興課 0735-72-0180
7月中旬	ブルーベリー狩り	広川町・浅井農園 他	浅井農園 0737-62-3873
7月中旬	真夏のあじさい満開	かつらぎ町・花園あじ さい園	花園あじさい園 0737-26-0888

～編集後記～

6月に入り夏の訪れを思わせる暑い日が続きましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今年は全国的に梅雨入りが早く、和歌山でも5月16日に梅雨入り宣言が聞かれました。

今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

5月号のふるさと歳時記で、新しょうがの収穫の始まりをご案内しました。先日、スーパーマーケットに新しょうがが並んでいるのを見かけました。これから旬の時期を迎えます。私は毎年、梅雨の時期から夏にかけて新しょうがの甘酢漬けを作ります。甘酢漬けは、冷蔵庫で保存でき、さっぱりとしているので暑い季節にいただくと食欲も増し、元気になる気がします。自家製新しょうがの甘酢漬けは、甘さや酸っぱさの調整ができておすすですが、しょうがをスライスする際には、包丁やスライサーの刃にお気をつけください。

新しょうがとともに収穫の最盛期を迎える南高梅ですが、和歌山では、自家製の梅干しや梅酒を作るご家庭が多いです。梅干しには、疲労防止、疲労回復、スタミナ保持に欠かせないクエン酸が多く含まれているそうです。また、抗菌、防腐効果もあるといわれているので、お弁当に入れるようにしています。みなさまも、よろしければ南高梅を、また和歌山梅酒をご賞味ください。

梅雨の時期を迎え、蒸し暑い日も多くなると思います。マスクを着用する生活が続く、身体も暑さに慣れておりません。みなさま、熱中症にはくれぐれもお気をつけください。



知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますのでぜひご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2021年(令和3年)6月 NO.158

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022